

文京区湯島防災避難訓練参加報告

(東大和市訓練編)

東大和市社会福祉協議会
南街・桜が丘地域防災協議会
平成29年03月18日

平成29年03月18日に文京区湯島 SYM 防災三町会災害連合会(地の多くの自治会及び関連公的機関)と東大和市社会福祉協議会と南街・桜が丘地域防災協議会が地域を超えて防災訓練を実施致しました。

当日は東大和市から社会福祉協議会から2名。防災協議会から1名が湯島に赴き訓練に参加しました。

一方東大和市と湯島間は Face Time を利用して画像通信を行いその画像をプロジェクターで投影し、ライブ映像を使用しての双方の被害状況確認しながら、湯島地域から、被害が大きいためボランティアの出動要請が出され、一方被害の殆どなかった東大和市からは、湯島の要請に対して東大和市社会福祉協議会で出動要請の検討を、早急に検討する旨の通知を致しました。

1. 本訓練の基本的な方針
本訓練の基本的な実施方針は以下の通りです。

関係各位

SYM



平成28年7月7日

03月18日の地区防災計画策定の訓練概要(南街桜ヶ丘防災協議会編)

- 本訓練の目的は地域社会の自立と社協を含めた公共機関との連携強化。
(被災者は支援者になり得るか)
- 南街桜ヶ丘防災協議会との連携の模索、昨年12月に訓練を行いました、無線機訓練のせいもあり FaceTime の交信は成功でしたが、一部のメンバーしか共有できなかった事が反省として残りました。
- 今回は少しドラマ性を入れて、本訓練の課題として取り上げたいと思います。
- 現在SYMでは8町会でスピードの違いはありますが、支え合いマップを作成の為「ほほ笑みの風」活動に区・社協含め着手しています。(別紙チラシ参照)
- 被災想定は、都心部震度6強以上の激甚災害で大混乱状態だが、都下東大和方面は被害軽微。
- 両組織とも災害時要配慮者の安否確認中。

- 湯島においては、災害時要配慮者数が多数にのぼり援護者が大幅に足りない状態に陥っている。
- 文京区においては、ボラセンはまだ立ち上がってない状態。
- SYMから南街桜ヶ丘防災協議会(以下協議会)に救援要請。FaceTime
- 協議会→東大和社協→地域ボランティアに救援要請。
- SYM→文京社協に無線機にて協議会及び東大和社協からの派遣要員は湯島地区に配属の要請。
- 宿泊場所などはSYM他湯島地域の防災組織が手配する。
- 協議会を選んだ理由、両組織とも地域社会を基盤としているから。
- FaceTime を通信手段に選んだ理由、動画で交信できることでよりリアル感が出せる。大画面に映せることを検討中。
- SNSが交信可能な状態との設定で行う。
- 交信内容のセリフは今後の検討課題。
- 文京区においては区・社協ともに湯島地区限定のモデルケースとして捉える。
- 湯島地区参加予定団体、SYM三町会災害連合会、天神下四町会災害連合会、天梅会、区防災課、福祉政策課、文京社協、本郷消防署、本富士警察署、竜岡会、切通町会、湯島北町会、婦恋会、本郷地区民生委員、湯島小避難所協議会、教育センター避難所協議会 計12町会

SYM三町会災害連合会
会 長 高山 宗久

2. 具体的な被災者の想定(新花地区の例)
以下の通りの被災者想定を致しました。

文京区湯島防災避難訓練 (2017/3/18)

新花地区【障害者救出・救助・応急処置・搬送】

◎【要救助者】

- 1) 意識不明・頭部裂傷の母親（イガワ・トモコ）… 松下純子区議
その子供（マイ）… 上田帆乃佳（6歳） 〈日本児童〉
- 2) 認知症 70歳女性（オダ・ケイコ）… 青木和代
- 3) 視覚障害 40歳女性（ノダ・ユキ）… 松本享子
- 4) 肢体不自由 80歳男性（トダ・カイサク）… 鎗田精康
- 5) 自閉症 50歳男性（オオカワ・シュン）… 楠見彰太郎

◎ 俳優陣ピックアップ（上田帆乃佳、青木和代、松本享子、楠見彰太郎）

18日当日 千代田線湯島駅 進行方向（根津に向かって）後方改札口

7:45 集合（ピックアップ担当・油谷）

ピックアップ後、御霊社・俳優控室に於いて打合せ

※ 現地俳優陣（母親役、鎗田さん） 8:00 御霊社集合

◎ 訓練 事前スケジュール

8:30 ～ 訓練必要備品チェック

（防災備品・ 救急用医療備品、車いす、布担架、リヤカー、盲人用白杖、他…）

（会場セッティング・脚立、段ボール箱、ビニールロープ、座卓、長机、血糊、他…）

8:30 ～ 各会場確認・セッティング

◎ 9:00 訓練開始

- ※ すべての訓練に於いて、最初は2人一組の安否確認をして町内を回っている
住民有志が、要介護者を発見する。（無線必携）
その後、現場の状況により、人員の応援、救助器具の要請をする。

1. 【第一現場・マンション3階廊下】

安否確認中の地元有志2名

湯島 2-17 湯島マンション付近で、階上から女兒の「ママ！ママ…！」と泣き叫ぶ幼い女の子の声を聞く。

有志2名、現場を確認の上 マンション階上に赴く！

マンション3階廊下に、頭部にガラスによる裂傷を負った意識不明の30代女性！ 出血多量で意識が無い。傍に無傷の未就学女兒が錯乱状態で号泣！

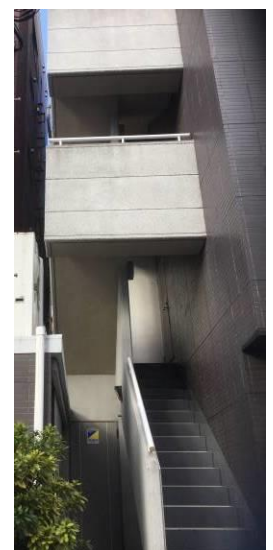
無線にて現状を報告すると共に、応援を要請！

応援部隊3～4名 椅子担架と救急備品を持ち駆けつける。

総員で協力してに母親と女兒を道路まで救出。

（応急処置を階上で行うか、地上に降りて行うか 要検討）

この母子は、最近マンションに引っ越してきたみたいで救助隊員には馴染みが無い



女兒担当の救護員は女兒の名前と、母親の氏名を聞きだす。
母親の緊急処置後、東都病院にリヤカーで搬送 トリアージ

総勢救助員 5～6名

母親 イガワ・トモコ（松下純子）

子供 マイ（上田帆乃佳）

※ スモークメーカーで 災害現場の雰囲気作り（消防隊）！

2. 【第二現場・天野宅 居間】

安否確認中の地元有志 2名

個人宅（天野邸）表を通りかかった時、中から「助けて！助けて！」という
老女の悲鳴を聞き 中に突入！

庭に面した居間で、箆笥（座卓代用）の下敷きになってる
オダ・ケイコ 70歳 発見！

（救助員は 被災者とは顔見知り、重度の認知症であることも把握）

救助員 2名 本人を救出すると共に、本部に現状報告！

本人を救助すべく、表に連れ出そうとするが… 本人それを拒否 むずかる。

足首を捻挫しているようだが、歩行は辛うじて可能みたい。

救助員、本人を説得して表に助け出し、救護所に連れて行こうとした時、

本人 暴れて救助員の手を振りほどき 逃走を試みるが、

捻挫の足が思うように動かず、数メートル逃げて転倒！ 歩行困難になる。

本部に現況を伝え、応援要請！

応援の救助員 2名 車椅子を持って駆け付ける。

本人を救助、車椅子に乗せ救護所に搬送。

総勢救助員 4名

認知症の老婆 オダ・ケイコ（青木和代）

※ 駐車場に軽トラック 救出の妨げになる。

※ スモークメーカーで 災害現場の雰囲気作り（消防隊）！



3. 【第3現場 マンション階上】

安否確認中の地元有志2名

視覚障害の女性40歳(ノダ・ユキ)、
マンションの非常階段付近において、中年女性の助けを求める声を聞きつけ、声の方を見ると、マンションの非常階段3階の踊り場で、白い杖を振っているサングラスをかけた中年の女性を発見！ すぐさま現場に赴くが、階段は被災による遮蔽物でかなり通行困難！

視覚障害の女性ノダ・ユキ（40歳）

目が見えないことと、不安感で本人かなり動揺している。

本部に連絡すると共に、車椅子応援を要請

本人に安心感を与えつつ怪我の有無を確認！ 左肩を強打しているみたいで左手が動かない。



（応急処置として 現場で左手 固定か？）

遮蔽物の中を、本人を勇気づけながら地上まで誘導！

応援隊員とともに 本人を車椅子にませ

救護所に搬送。

総勢救助員4名

視覚障害の女性 ノダ・ユキ（松本享子）

※ 階段の障害物 多数（御霊社にある用具等活用）

※ スモークメーカーで 災害現場の雰囲気作り（消防隊）！

4. 【第4現場・御霊社二階 集会室】

安否確認中の地元有志2名

御霊社二階付近から 老人の悲鳴を聞きつけ

室内に飛び込む！

肢体不自由80歳男性（トダ・カイサク）が、 室内中央で箆笥（長机等で）の下敷きになって救助を求めている。

本部に連絡すると共に、本人に確認。 するも、言語障害があるようで

意思の疎通が不自由 それに認知症も加味してるもよう。

遮蔽物を取り除くも、本人 肢体不自由の上 全身打撲で動くこと出来ず！

応援4名と布担架を要請。

応援到着後 布担架にませ階段下まで運び出すが、本人 動かない身体で暴れるので搬出が 危険！

階段下に用意したリヤカーにませ 救護所に搬送する。

総勢救助員 6 名

肢体不自由の老人 トダ・カイサク（鎗田精康）

※ 室内の倒壊物（現場調達）

※ スモークメーカーで 災害現場の雰囲気作り（消防隊）！



5.【第 5 現場】（御霊社・階下駐車場）

安否確認中の地元有志 2 名

突然 鳴り出す車のクラクションに
音の方に駆けつける。

建物一階のワゴン車の中に、額から血を流している
男を見つける。

自閉症の男性 50 歳（オオカワ・シュン）

救助員、男に声をかけるが ドアを開けるでも無く
どうも様子がおかしい！

車の中で救助員の呼びかけにも 要を得ない返事で返し
気も動転してる様子。

本部に連絡 状況を伝え 応援を乞う。

やたら母親らしき女性のことを心配している。

男性を見知ってる救助員駆けつけ 説得に参加！



近くの一軒家に母親と住む男性だが つい最近
母親は近隣の養護老人施設に移り、一人暮らしとのこと。
普段は大人しく普通に過ごしていたが、この度の震災で
パニック状態になっている模様。
辛抱強く説得にあたり、どうにか男性を車から連れ出すが
挙動不審で、一人では動けない様子。
救助員 車椅子を取りに走り 男性の額の傷を応急処置
男性を車椅子に乗せ 落ち着かせながら
救護所に搬送する。

総勢救助員 4～5 名

自閉症の男性 オオカワ・シュン（楠見彰太郎）

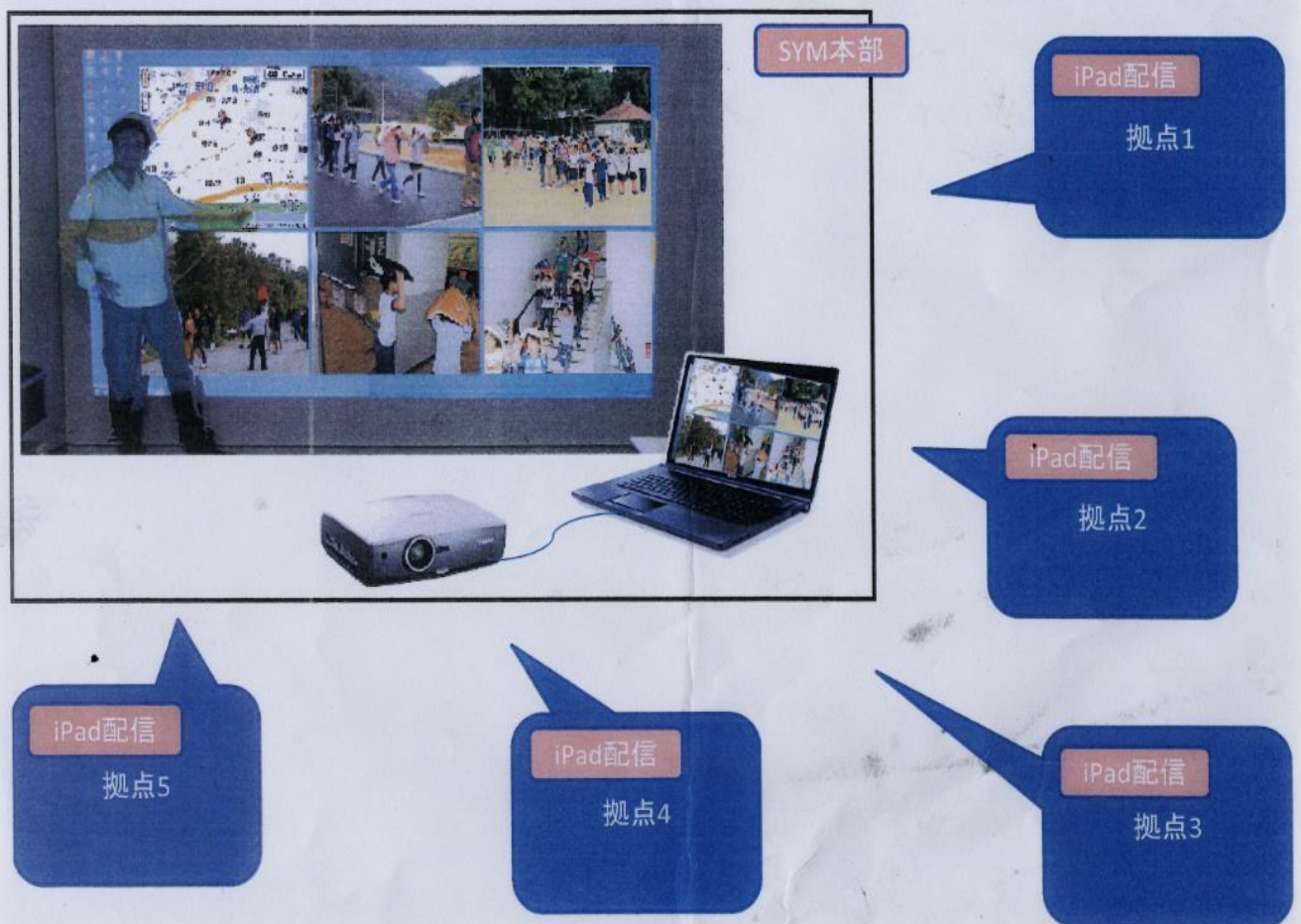
※ ワゴン車、車椅子、救急用具

※ スモークメーカーで 災害現場の雰囲気作り（消防隊）！

3. モニター設備の導入

以下の通り、本部から 5 か所の現場を同時モニター出来る形で設置しました。

LIVEイメージ



訓練関係地図



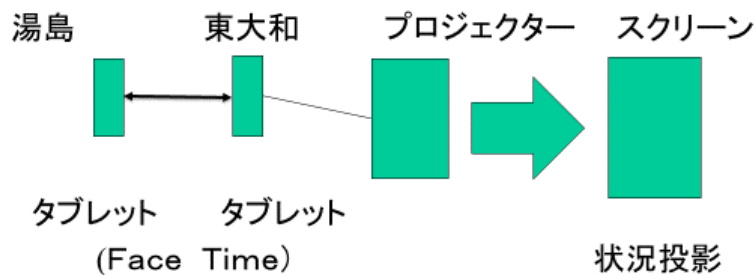
4. 東大和市側の訓練状況

東大和市側の訓練状況は以下の通りです。

44.1 画像通信の方法

下記の形と致しました。

相互をタブレットで画像通信



15

4.2 東大和市社会福祉協議会現場の状況

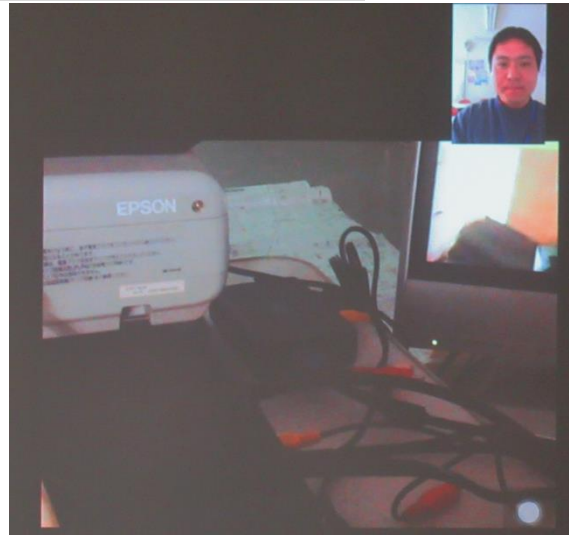
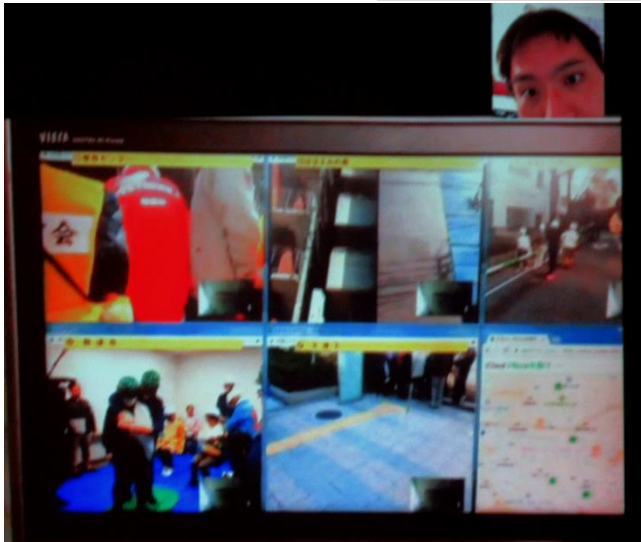
- 湯島 SYM 防災三町会災害連合会 → 南街・桜が丘地域防災協議会に災害救援要請あり
- 当防災協議会 → 東大和市社会福祉協議会にその旨の連絡
- 東大和市社会福祉協議会の会議室 → 湯島 SYM 防災三町会災害連合会
(文京区社会福祉協会と災害救援要請内容確認)

東大和社会福祉協議会の会議室の機器セットアップ状況

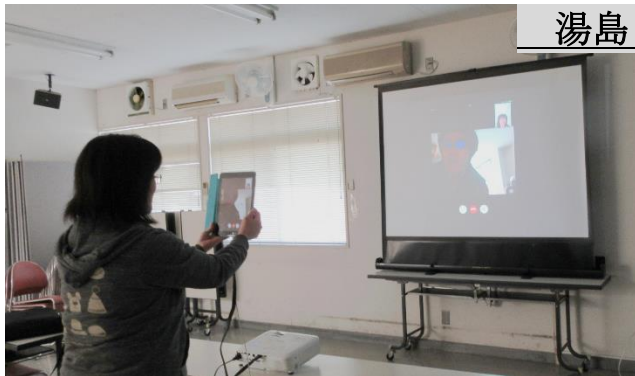
災害支援対策本部の設置



湯島 SYM との通信画面／プロジェクターへの投影状況



湯島との通信訓練状況



湯島からのボランティア出動要請内容(板書議事録)

下記の内容に従い東大和市社会福祉協議会は対応方針の検討を開始する。

湯島 SYM

録四、山崎、高田から湯島SYMに宛て
概略的支援の手順の要請が来たと、東大和市社協にその要請を以て下りの応答をお願いした。

- ・10人程度程度の要請(予定)
- ・福祉関係の希望(経験者)
- ・スタッフの志願者人材が必要
- ・地域の被災状況はまだ不明
- ・宿泊場所は確保済み(30人程度)
- ・1week程度を目途
- ・水/食料の確保をお願いした。
- ・小型バスの駐車場の確保